

日本橋・三越前 YUKI-SIS では、東京造形大彫刻科、同期によるロックバンド、

“Panty Hunting”メンバーの4人の立体作家によるグループ展を開催します。



キュリオス^{てい}梯 Group Exhibition by Panty Hunting

2015.5.16 (Sat) — 30 (sat)

日、月 休廊 Closed on Sunday, Monday

12:00 — 19:00



Talk Event BAR YUKI-SIS 5.23 (Sat) 19:30~

「ルアーと沢庵—恐怖心と好奇心を覗く」

出演：Panty Hunting (松本ナオキ：Vo. 田中俊之：Gu. 鈴木亘彦：Ba. 石井章：Dr.)

SPECIAL GUEST: あがた森魚 (Musician)

★入場料はいりませんがドリンクをお求めください。ビルの施錠上 21 時迄にご入場ください。

YUKI-SIS

東京都中央区日本橋本町 3-2-12 日本橋小楼 202 03-5542-1669

info@yuki-sis.com <http://yuki-sis.com>

3-2-12- #202, Nihonbashi Honcho, Chuoh-ku, Tokyo

103-0023, JAPAN [+81\(0\)3 5542 1669](tel:+810355421669)

薄いフィルムに包まれた、試聴の出来ぬ輸入盤。
嗅覚頼りにジャケット漁る。未知なる音を探す為、
時にはジャケに騙されて、塩ビの森でハンティング。
海の向こうへ繋がった、一方通行細い溝。
フィルムを破るその度に、あの地の大気は放たれた。

素材の森へと誘われて、此処でも獲物を追いかける。
追われる事がありとても、まだ観ぬ獲物よ 今何処。

ROCK BAND ? SCULPTORS ?

立体作家であると同時に、Panty Hunting というロックバンドで音楽活動続ける 4 人によるグループ展「キュリオス^{てい}梯」。

子供の頃に男子が感じた、世の中へのキュリオシティ。身の回りの昆虫や図鑑、宝物にしていたガラスのかけら、王冠、カードや切手、秘密基地。自分をワクワクさせてくれるモノには、貪欲なまでの好奇心を持って懸命に愛したあの日。

彼らはやがて大人になり、自らの手でワクワクするものを作り出すことになります。

東京造形大彫刻科卒業後、それぞれ進む道は異なりますが、音楽とこのキュリオシティが彼らを繋いできました。

扱う素材は鉄やガラスなどそれぞれ異なります。そして彼らの奏でる楽器、パートも異なります。

個人練習からスタジオで初めて音を合わせるあの瞬間。初めて人前で演奏するステージでの開放感。

今回の展覧会では、それぞれが自らの手で奏でる「キュリオシティ」の立体がYUKI-SISでどんな音色を見せてくれるか楽しみです。



松本ナオキ (Vocal)

ネコビト

28.0 x 14.0 x 10.0 cm 鉄 2015



田中俊之 (Guitar)

marker/マーカー

25.0 x 6.0 x 6.0 cm

羽毛、DC ファン、他 2015

鈴木亘彦 (Bass)
Three stone pool 6th wand
28.2 x 43.0 x 4.8 cm
ガラス、木材、合成樹脂、他
2014



石井章 (Drums)
「律動マシーン」
50.0 x 40.0 x 15.0 cm
鉄、ドラムヘッド
2015

松本ナオキ、田中俊之 合作



BAR YUKI-SIS 5/23(土) 19:30~

SPECIAL GUEST あがた森魚 (Musician)



歌手、映画監督、役者、作家活動と、複数のアウトプットを持つ表現者—あがた森魚—。そのあがた森魚さんが、5月23日(土)のBAR YUKI-SISのトークイベントにスペシャルゲストとして登場してくれます！

Panty Huntingのメンバーとともに、音楽と表現活動について熱く語ります。